

みんなの思い
みんなのチカラ



独立行政法人
高齡・障害・求職者雇用支援機構

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

お問い合わせ先 / 〒261-8558 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2 総務部人事課 ✉ saiyou@jeed.go.jp

障害者職業カウンセラー職 / 事務職

職業訓練指導員

〈人事第2係〉TEL.043-213-6098

〈人事第5係〉TEL.043-213-6129

詳細はJEED
ホームページを
ご覧ください



🔍 JEED 採用情報

JEED キャリアガイド

みんなの思い
みんなのチカラ

【厚生労働省所管】



独立行政法人
高齡・障害・求職者雇用支援機構

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

J E E D の 3 つ の 役 割

みんなの想い
みんなのチカラ

経験豊富な高齢社員の力を組織活性化につなげたい。

障害の有無にかかわらず、力を発揮し、やりがいを持てる仕事につきたい。

一度仕事から離れても、新たな知識や技術を得て働くことに再チャレンジしたい。

社会に出るまでに、確かな技術や知識を身に付けたい。

そんな、すべての人の働きたい想いと働く場の両方を

全国でサポートするスペシャリストになりたい。

みんなの想いが、大きなチカラになる。

誰もが職業をとおして
社会参加できる
共生社会を目指しています

当機構^{ジード}(JEED)は、「誰もが職業をとおして社会参加できる共生社会」を目指し、国の高齢者雇用、障害者雇用、職業能力開発に関する政策の多くを国に代わって実施する、厚生労働省所管の独立行政法人です。具体的には、高齢者の雇用の確保、障害者の職業的自立の推進、求職者をはじめとする労働者の職業能力の開発および向上の促進のために、高齢者、障害者、求職者、事業主といった利用者に対し総合的な支援を行っています。

高齢者雇用の支援

高齢者が年齢に関わりなく働き続けることができる生涯現役社会の実現を目指します

少子高齢化が進み労働力人口が減少する現在、日本が活力ある社会を維持するためには、高齢者が長年培った知識・経験や働く意欲を十分に活かしていけるようにする必要があります。そのため、JEEDでは高齢者雇用に関する事業主への支援を行っています。

障害者の雇用支援

障害の有無に関係なく、希望や能力、適性等に応じて活躍できる社会の実現を目指します

多様性のある共生社会を実現する上で、働くことを希望する障害者が能力を十分に発揮し、就労を通じた社会参加ができるようにしていくことは重要な課題です。そのため、JEEDでは障害者および障害者雇用に取り組む事業主への支援を行っています。

職業能力開発の支援

仕事を通じて自らの能力を存分に発揮し、生き生きと活躍できる社会の実現を目指します

仕事を探している求職者などの方々が、職業に必要な能力の開発および向上により職業の安定につながるよう、職業訓練的確実に実施することが求められています。そのため、JEEDでは求職中の離職者、企業で働く在職者、高校卒業者および事業主への支援を行っています。

【正式名称】独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
【英文名称】Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers
【略 称】JEED(ジード)

P.3 JEEDで働く魅力とは?

P.5 HUMAN STORY 01 使命と誇り

P.7 HUMAN STORY 02 出会いと成長

P.9 HUMAN STORY 03 働き方と目標

P.11 JEEDの仕事[4つの職種]

P.13 JEEDのフィールド[主要施設]

P.15 JEEDの人材育成[研修体系]

P.17 JEEDの働き方[ワークライフバランス]

J E E D で働く魅力とは？

社会課題の解決に貢献している手応えと、
全国がフィールドだからこそ経験できる
たくさんの出会い、視野が広がる感覚。
それらすべてが、自分の成長につながって
チカラを生み出す循環を感じながら、
各地で職員が活躍しています。

3つの分野でSDGsを支援します

【高齢者雇用支援業務】

- 70歳までの就業機会の確保に向けた相談・援助
- 高齢者の雇用の安定のための助成金支給
- 生涯現役社会の実現に向けた啓発・広報活動
- 高齢者雇用に関する好事例の収集・発信

【障害者雇用支援業務】

- 障害者・事業主等の多様なニーズに対応した
職業リハビリテーションサービスの提供
- 地域の就労支援機関等への助言・援助
- 障害者雇用納付金制度に基づく
納付金の徴収及び助成金等の支給
- 社会一般に対して関心と理解を深めるための啓発・広報活動

【職業能力開発支援業務】

- 雇用のセーフティネットとしての求職者を対象とした職業訓練
- 高度なものづくりを支える人材の養成
- 在職者を対象とした職業訓練や事業主への相談・援助
(リスキリング・学び直し、中小企業でのDX人材育成の推進の支援)
- 職業訓練指導員の養成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



01

使命と誇り

相手と向き合い、ニーズを探り、理解し実践していく
日々の積み重ねが、誰もが職業を通じて社会参加できる
共生社会への道に、確かに繋がっていくという実感。

HUMAN STORY 01

∨
P.5

02

出会いと成長

全国どこに行っても、支え合える仲間がいる安心感と、
新たな出会いがもたらす、今まで知らなかった自分との
出会いが、私たちを大きく成長させてくれる。

HUMAN STORY 02

∨
P.7



誰もが能力を発揮し、安心して働ける社会をつくる仕事
をする私たち自身が、まさにどんな状況でも能力を発
揮し、安心して働き続けられる——そんな職場です。

HUMAN STORY 03

03

働き方と目標

∨
P.9

HUMAN STORY WEB版だけの
情報もチェックしてみよう



01

使命と誇り

HUMAN STORY 01

武内 洵平

障害者職業カウンセラー職

障害者職業総合センター 職業センター
(2013年採用)

新しい技法を開発・普及し 全国の支援スキルの向上に貢献

より先駆的な職業リハビリテーションの技法を開発

これまで、障害者職業カウンセラー職として、障害のある方々の職業相談や、企業を訪問してのさまざまな支援を経験してきました。現在、その経験を活かして、障害のある方が職業的自立を図るための「職業リハビリテーション」の技法開発に携わっています。今の担当は、高次脳機能障害という、脳血管の病気や交通事故による頭部外傷などが原因で、注意障害や記憶障害、計画的な行動ができなくなるなどの症状がある方への就労支援です。職場復帰を目指して、当センターのプログラムに通っている方々に、開発したプログラムを実際に試していただき、効果の確認やご意見の聞き取りをしながら、障害のある方がご自身の特性に気付き、課題に前向きに取り組めるよう、開発を重ねています。

全国の障害のある方の就労支援に役立つように

技法開発は、今関わっている利用者の方々だけでなく、全国で同様の障害のある方の就労支援に役立てるといって、大きな使命があります。そのために、47都道府県の地域障害者職業センターをはじめ、全国の就労支援機関へ技法を普及していく必要があります。職員向けの講習会も開催しており、そこでの反響も励みになっています。技法の普及方法も、ニーズにあわせて広げています。対面による講習会に限らず、視聴覚教材を制作して見てもらうなど、今後も既存の枠にとらわれずにチャレンジしていきたいと考えています。それにより、こちらが予想もしなかったところで、各地域の役に立てているということが起きてくると嬉しいです。



MY LOCATION

関東ブロック
千葉県
千葉市



潮風と緑、利便性が揃う 自然と都会の良さが融合する街

もともと、いろいろな土地への転勤が楽しみでもあり、その地域ならではの雰囲気を楽しんでいます。現在の勤務地である海浜幕張は、東京都心からのアクセスもよく、大きなビルが立ち並びTech企業など多い街。一方で、海浜幕張公園などの緑豊かな公園もあり、ちょっとした散歩には最適です。海も近く、潮風も感じられます。野球観戦が好きなので、地元プロ球団の本拠地スタジアムも近いのが嬉しいです。



仕事帰りに同僚と野球観戦に立ち寄ることも。職場からはバスですぐです。ドームではない球場なので、開放感たっぷり。お弁当を買って食べつつ応援してリフレッシュ。

HUMAN STORY WEB版だけの
情報もチェックしてみよう



02 出会いと成長

HUMAN STORY 02

水杉 亜実

職業訓練指導員(職業能力開発職)

三重職業能力開発促進センター(ポリテクセンター三重)
(2012年採用)

日々進歩する技術・知識の習得を
ネットワークが支えてくれる

地方によって異なる建築の様式や慣例を学ぶ楽しさ

現在のポリテクセンター三重は、鳥取、福岡を経て3カ所目の赴任地です。職業訓練指導員として、これまで建築分野の職業訓練を担当してきました。初任地の鳥取では、まったくの新人だったので、教える立場として立ち上がるまで、先輩の訓練に参加させてもらったり、模擬授業で指導を受けたりと、手厚くサポートしていただきました。どの業界もそうだと思いますが、新しい技術がどんどん開発され、法律も変化していきますので、今も日々勉強です。また、建築はその地の風土や文化に密接に関わっているので、地方によってルールや慣例にちょっとした違いがあります。それらを各地の先輩たちに教えていただきながら、今に至ります。

広いネットワークの中、常に新鮮な気持ちで

出身地やそれまでの配属先が異なる方々と一緒に働くこと、そして、毎年新しい人との出会いがあることで、知識や経験、情報のネットワークが生まれていくのが新鮮です。各地で出会った仲間とは今も連絡を取り合っています。2カ所目の配属先、ポリテクセンター福岡では、初めて後輩ができ、教えることで逆に学ぶことがたくさんあったのもいい経験でした。たくさんの訓練生の方々との出会いも、成長を支えてくれたと感じています。訓練修了後、元訓練生が仕事のついでにポリテクセンターに立ち寄って近況報告をしてくださったり、企業訪問でばったりお会いしたりする時、元気に働かれている姿に、この仕事をやってよかったと心から思います。



MY LOCATION

東海ブロック
三重県
四日市市



鈴鹿の山々の季節ごとの景色と コンビナートの夜景もオススメ

三重県は、里山の自然が豊かで、新緑や紅葉の季節の鈴鹿山脈の山々はハイキングやドライブも楽しめる場所です。特に、御在所岳という山にはロープウェイもあり、気軽に訪れることができます。ゴンドラからの景色が素敵なのはもちろん、ロープウェイの鉄塔では日本一の高さを誇る鉄塔も見事です。また、四日市などのコンビナートの夜景も、クルーズがあるくらい人気です。休日は、同期と誘い合ってドライブに出かけたりもします。



四季折々の景色が楽しめる、御在所ロープウェイからの眺め。天気がいいと、遠くに伊勢湾までが見渡せます。秋には標高差による紅葉のクラゲーションもきれいです。

HUMAN STORY WEB版だけの
情報もチェックしてみよう



03 働き方と目標

HUMAN STORY 03

樋口のぞみ 事務職

鹿児島支部 川内職業能力開発短期大学校
(2015年採用)

家庭との両立を応援してくれる
風土と制度の両方があります

育児両立支援制度で、無理なく、なだらかに復帰

学生時代に、障害のあるお子さんが通う学童でのアルバイトを経験し、そのような子たちが大人になったときに働くお手伝いがしたいと、JEEDに入構しました。現在に至るまで、仕事上で障害のある方々と直接関わりがあるわけではありませんが、さまざまな方の「働く」を支援できていることに、やりがいを感じています。そんな中、入構4年目で双子を出産。産前産後休暇や育児休業はもちろん、JEEDの育児両立支援制度をフル活用させていただきました。復帰にあたっては、最初の5ヵ月間は育児短時間勤務を利用し、ペースを掴めたら次に育児部分休業に移行。フルで働く今も、子どもが熱を出した時などは、看護休暇を利用しています。

転職もありながら育児の経験を伝えていきたい

実は、入構当時、将来家庭を持った時に仕事と両立できるか不安もあったのですが、実際に経験してみると、上司をはじめ職場の方々が応援してくれる雰囲気もあり、想像していたよりはるかにスムーズに復帰でき、双子の子育てとの両立もなんとかできています。こうした経験をさせていただいたので、少しでも両立に不安のある方へ、ワークライフバランスについて伝える役割も担っていかれたらと思っています。今、学生募集の広報にも携わっており、データを踏まえターゲットを絞ったり、有効な媒体を考えたりすることが楽しく、マーケティングの視点も学んでいる最中です。限られた時間をどう使うかを考えるうちに、自然と積極的になれた気がします。



MY LOCATION

九州ブロック
鹿児島県
薩摩川内市



海と山が近く、両方の魅力を
存分に楽しめる地域です

鹿児島というと桜島をイメージされる方も多いと思いますが、実際に海と山が近く、両方楽しめます。川内職業能力開発短期大学校のある薩摩川内市を含む、北薩摩と呼ばれる地域も、とにかく自然がいっぱい。海の幸も山の幸もおいしくて、この環境で子育てをできるのは本当にありがたいと感じています。休みの日にはピクニックや海岸での砂遊びなど、周りに気兼ねなく、親子ともどものびのび過ごせるスポットが多いのが気に入っています。



家から車で約1時間の
重富海岸は、気候がい
い時期は月2くらいで遊
びに行くお気に入りス
ポット。子どもと貝殻拾
いやピクニックをして楽
しんでいます。桜島も
一望できますよ。

JEEDの 人材育成

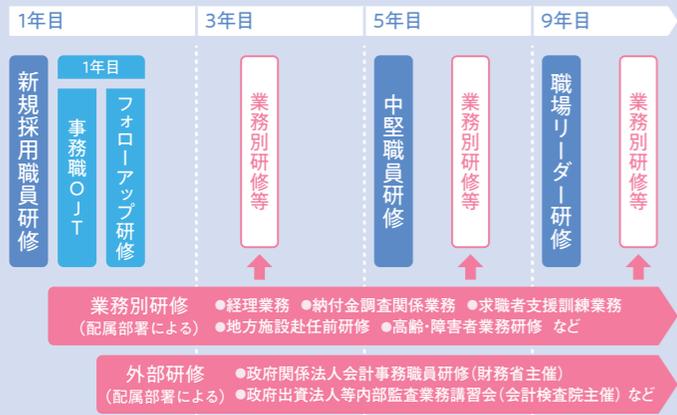
「働く」を支援する職員の能力も、大きく開花させるキャリアサポート。

1年目の研修をはじめ、その後のキャリアアップを支える各種研修が、
職種ごと、キャリアの段階ごとに用意されており、
OJT(職場での実務を通じた教育・指導)とあわせて、職員一人ひとりの成長をバックアップします。



[研修体系]

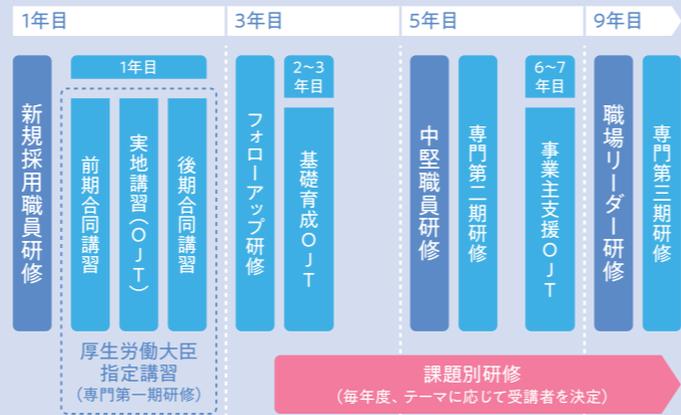
事務職は、経験年数や職位に応じた研修のほか、経理業務研修などの業務別研修を行っています。また、新規採用職員については、配属先におけるOJTにおいて、担当業務以外の業務も経験できるような仕組みを設けています。



[事務職の研修体系]

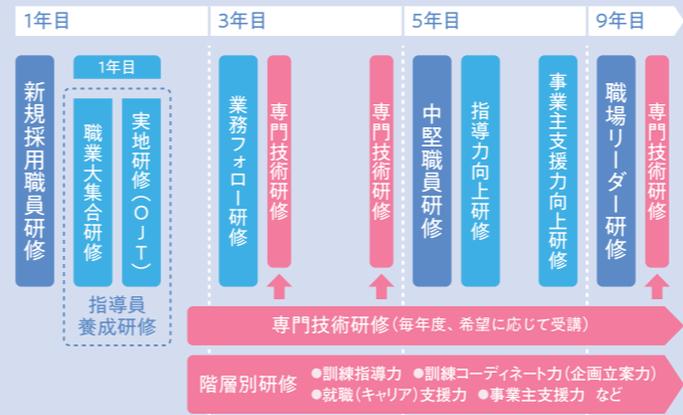
[障害者職業カウンセラー職の研修体系]

障害者職業カウンセラー職は、最初の1年間は「厚生労働大臣指定講習」により、業務に必要な基礎的な知識やスキルを学びます。2年目以降は、継続的なOJTとあわせて、経験年数に応じた専門研修が用意されています。



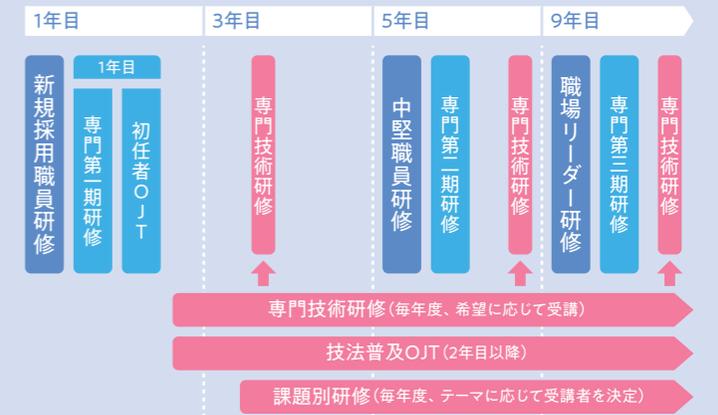
[職業能力開発職の研修体系]

職業能力開発職は、指導員養成研修にて職業訓練指導員免許(国家資格)を取得し、その後は独自の人材育成システムに基づき、経験年数に応じた研修や専門的な技術研修が用意されています。



[障害者職業訓練職の研修体系]

障害者職業訓練職は、経験年数に応じた障害者支援に係る専門研修のほか、訓練技能・技術に関する専門技術研修を受講します。
※すでに職業訓練指導員免許を取得されている方が対象となっています。



事務職

JEEDの全体像を知ることによって仕事のしやすさが格段にアップ。

STAFF VOICE 中堅職員研修

JEEDの事務職は、業務内容が非常に多岐にわたります。そのため、JEEDの事業の全体像や他部署の業務内容について詳しく学べる「中堅職員研修」がとても役立ち、印象に残っています。当時は経理を長らく担当していたのですが、受講したおかげで、機構の全体像が見えるようになり、仕事がとてもやりやすくなりました。現在担当している広報業務でも、機構内のさまざまな業務を紹介する際などに、各部署との調整をスムーズに進めることができます。日頃のOJTに加えて、研修でスキルアップができるのはありがたいです。今後もさらにいろいろな業務に携わっていきたくと思っています。



本部 企画部 情報公開広報課
柴田 彩花
(2016年採用)

障害者職業カウンセラー職

充実した研修とOJTの両輪で知識や対応力が身につきました。

STAFF VOICE カウンセリングの理論と技法／ケーススタディ

入構1年目の合同講習で、「カウンセリングの理論と技法」「ケーススタディ」を受講し、職業相談に必要な知識や技術を基礎から学ぶことができました。入構当初は、支援において「正解」を求め焦ってしまふこともあったのですが、研修で学んだ、相手の気持ちや考えに寄り添い、質問の意図や不安に思いを巡らす大切さを実践するようになりました。少しずつ、利用者の希望に視点を置いた支援計画を考えられるようになりました。3年間のOJTもあり、困りごとや悩みを先輩職員に相談したり、職業相談に同席いただいたり、さまざまなサポートのおかげで、知識や対応力が広がったと思います。



宮城障害者職業センター
齊藤 広純
(2018年採用)

職業訓練指導員(職業能力開発職)

訓練の指導スキルを高められる豊富な研修を最大限活用。

STAFF VOICE 中古住宅のインスペクション

訓練生のニーズに合った職業訓練を提供したいと、これまでさまざまな研修に参加しました。中でも「中古住宅のインスペクション」は、建築業界でリフォームの着工数が増え、リフォーム関連への就職希望者も増えている中、受講メリットが高かったと感じています。中古住宅の検査に関して深く学ぶことができ、細かな注意点や検査機器の使用感を伝えやすくなりました。これからも、知識強化と新たな分野の開拓を行うために、各種研修に参加し、自分の可能性を広げていきたいです。そして、訓練生の就職を支援し、就職先企業の満足度も高めることで、社会に貢献していきたいと考えています。



和歌山職業能力開発促進センター
谷脇 圭祐
(2015年採用)

職業訓練指導員(障害者職業訓練職)

必要な年次で必要な研修を受け、知識とスキルが積み重なります。

STAFF VOICE ファシリテーション力向上研修

日々の訓練指導の中で、グループワークの司会・進行役を行う時に、どうすれば訓練生が積極的に意見を出せるような進め方ができるのか、悩むことがありました。そんな時に受けた「ファシリテーション力向上研修」では、アイデアを引き出すための「聴く」力と「訊く」力や、話し合いを深め、広げるための「切り口」を見つけるヒントを得ることができました。他の参加者を見て参考になる点も多々あり、研修受講後はスムーズに意見を出してもらえるようになったと思います。これからも障害や訓練にかかわる研修などに積極的に参加し、新しい知識や技能を学び、業務の中で活かしていきたいです。



国立吉備高原
職業リハビリテーションセンター
金 裕美
(2008年採用)

JEEDの働き方

[ワークライフバランス]

さまざまなライフステージにあわせ、働き続けられるサポートが充実。

出産、育児、介護など、どんなライフステージにおいても安心して働き続けられるよう、使いやすい休業・休暇制度と、日ごろの働きやすさを意識した組織的な取り組みで、職員一人ひとりを支えます。

出産・育児

産前・産後休暇(女性職員) **拡**

子を出産するため産前7週間前から出産の日まで、出産の日の翌日から8週間まで取得できる休暇制度(※労働基準法では、産前休業を6週間、産後休業を8週間と定めている)

配偶者出産・育児参加休暇(男性職員) **独**

配偶者の出産に伴う付添い時や、出産に係る子などの養育のため8日間まで取得できる休暇制度

育児休業

1歳(特に必要と認められる場合は2歳)に達するまでの子を養育するため休業できる制度

出生時育児休業

出生後8週間までの子を養育するため4週間まで休業できる制度

育児部分休業 **独**

小学校就学前の子の養育のため1日の勤務時間の一部(2時間以内)を勤務しないことができる制度

育児短時間勤務 **拡**

小学校就学前の子の養育のため勤務時間を週20時間又は週25時間に短縮できる制度(※育児介護休業法では3歳までと定めている)

育児時間

1歳未満の子の養育のため1日2回それぞれ30分取得できる制度

子の看護休暇

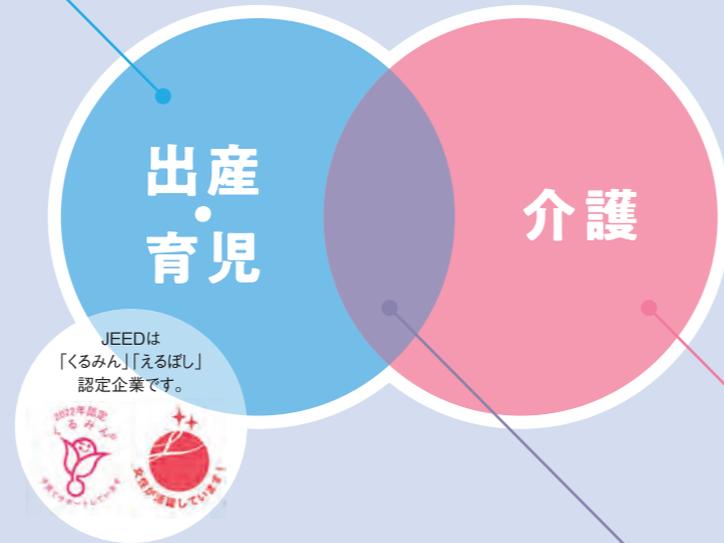
小学校就学前の子を看護するため年5日まで取得できる休暇制度

育児と介護の両立支援

仕事と家庭生活の両立を図るため、出産・育児・介護に関してさまざまな休業・休暇制度があります。

【実績】育児休業取得率：女性職員100%、男性職員23.1%(2021年度)

独 JEEDとして独自に取り組んでいる制度 **拡** JEEDとして取り組みを拡充している制度



育児・介護共通

早出遅出勤務(時差出勤)

子の養育又は対象家族の介護のため始業・終業時刻を変更できる制度

時間外勤務(超過勤務)の免除/制限など

3歳未満/小学校就学前の子の養育又は対象家族の介護のため時間外勤務を免除/制限できる制度

年次有給休暇の取得促進

【取り組み】毎月1日以上取得促進

【実績】1人当たりの平均取得日数：13.3日/年(2021年度)

特別休暇の充実

年次有給休暇のほか、さまざまな特別休暇があります。以下はその一例です。

【夏季休暇】毎年7~9月に4日間付与されます。【結婚休暇】5日間付与されます。【リフレッシュ休暇】勤続10年目、20年目などの節目に5日間、10日間などが付与されます。

残業縮減の取り組み

毎週2日「ノー残業デー」を設け、定時退庁の定着にむけた取り組みを行っています。

【実績】1人当たりの平均所定外労働時間：6.1時間/月(2021年度)

「働き方改革」の推進

2019年度からJEED版「働き方改革方針」に基づき、業務の効率化や働きやすい職場づくりを進めています。また、「働きやすい服装(ノーネクタイなど)の通年実施」も取り組み中。

【職員満足度調査(2020年実施)】

「今の仕事は、JEEDや社会に貢献する意義のあるもの」と回答した職員の割合：84.0%

安定した労働条件

国家公務員準拠の安定した労働条件(給与・手当)のなか、安心して仕事に打ち込める環境です。

介護

介護休業 **拡**

要介護状態にある家族(対象家族)の介護や世話のため通算して365日まで休業できる制度(※育児介護休業法では93日までと定めている)

介護部分休業 **独**

対象家族の介護のため1日の勤務時間の一部(2時間以内)を勤務しないことができる制度

介護休暇

対象家族の介護のため年5日まで取得できる休暇制度

JEEDで働くうえでのQ&Aはこちらへ▶▶



育児両立支援制度の利用対象期間

	産前7週	出産	産後8週	1歳(2歳)	3歳	小学校入学
男性		配偶者出産・育児参加休暇	育児休業 出生時育児休業			
女性	産前休暇	産後休暇	育児休業 育児時間			
共通			育児短時間勤務/育児部分休業	時間外勤務の免除	時間外勤務の制限/深夜勤務の制限	子の看護休暇

子どもの成長を間近に感じながらキャリアも積める環境です。

STAFF VOICE 育児休業取得

本部 求職者支援訓練部 訓練企画課

伊藤 拓也(事務職 2014年採用)

2人目の子が生まれた際に、2ヵ月半の育児休業を取得しました。毎日バタバタで大変なことだらけではありましたが、日々変化のある子どもの姿が癒しとなり、親としての成長も感じられた時間だったと思います。JEEDの育児に係る制度はとても充実していると思います。私自身も育児休業以外に、保育園への送迎のために「育児部分休業」や「時間外勤務(超過勤務)の免除」を現在も利用しています。仕事をしながら育児に励むことができ、職員として幅広くキャリアを積むことができています。この経験を活かし、今後、私が上司の立場となった際に、部下が積極的に制度を利用できるように環境づくりをしていきたいです。

